

2015年7月6日

クラウド関連事業が順調な伸び

- O2O のチャンスをつかえる
- WeChat と SF Express 社エコシステムとの接続
- 次の牽引役として注目される診療所向けサービス



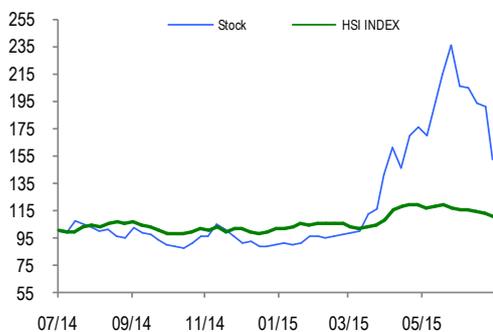
予想の修正 (%)

12月31日決算	15年度予想	16年度予想
売上高の変更	N.A.	N.A.
純利益の変更	N.A.	N.A.
EPSの変更	N.A.	N.A.

主な銘柄データ

52週間の高値/安値	6.41 / 2.18HKドル
30日間の1日平均出来高	40.36 Mn
発行済み株式数	2,892.16 Mn
時価総額	11,598 Mn
主要株主	Xu Shao Chun 取締役 (26.89%)

株価パフォーマンス



主要財務データ

12月31日決算	2014	2015	2016	2017
	年度	年度	年度	年度
売上高(100万人民元)	1,547	1,614	1,771	2,037
伸び率 (%)	(3)	4	10	15
コアの純利益 (100万人民元)	193	291	365	465
伸び率 (%)	54	51	26	27
コアのEPS(人民元)	0.075	0.105	0.123	0.156
伸び率 (%)	51	40	17	27
PER(倍)	42.3	30.8	26.3	20.7
PBR(倍)	4.1	2.7	2.6	2.4
DPS(HKドル)	0.015	0.020	0.030	0.039
イールド (%)	0.4	0.5	0.8	1.0

出典: 京華山一予想

最新情報

当社は、深圳で開催された Kingdee の製品デモンストレーションに参加した。

手掛かり材料

O2O のチャンスをつかえる 当社は、Kingdee が同社の顧客である商取引業者に、在庫管理、請求書処理ならびにカスタマーリレーションといった O2O (オンラインツーフライン) 取引のプラットフォームを提供し、その結果として O2O 商品バリューチェーンを成功裏に拡げることができる事を具体的に示した中小企業の事例展示(中小企業向けソフトウェアパッケージである KIS の事例が中心)に好印象を持った。特に、O2O アプリケーションがこれまで Kingdee が今まであまり展開していなかった小売りならびに卸売りの分野への進出に役立つと考えている。

WeChat と SF Express 社(中国ロジスティック大手)エコシステムとの接続 Kingdee ERP とクラウドの機能を WeChat の一般口座や SF Express 社のエコシステムなどに組み込んで接続することで、Kingdee はバックオフィス ERP サポート提供を通じて同社顧客である商取引業者の O2O 取引業務をより充実させることができる。当社は、これらの接続には時間と信頼が必要であるため、高い参入障壁になると考えている。更に、Kingdee は自らを業界の巨大企業と競合するのではなく、補完する存在として上手く位置づけている。

K/3 モジュールに関する AWS との提携 アマゾンの AWS との提携により、より多くの標準化した K/3 クラウドを中小企業に提供できるようになり、WeChat や Alipay のエコシステムなどとの橋渡しに役立ち、O2O に関与することにもなる。

次の牽引役として注目される診療所向けサービス Kingdee は診療所向けモバイルサービスの病院への導入を進めており、この導入が診療所における待ち時間と支払い処理時間のボトルネックの解消に役立つだろう。Kingdee は今年、新たに 150 の3等級病院をカバーし、16 年度末までに合計で 3,000 の病院をカバーすることを目標としている。

当社の見方

当社は、Kingdee が、クラウドへの転換戦略を通して、潜在顧客との接点の拡大、抱き合わせ販売チャンスの創出、ERP サービスの提供拡大という目標達成に向けて着実に進んでいるとの確信を強めている。特に、同社の 20 万を上回る一般クラウド企業ユーザー(無料)の約 50% がフィーを支払う同社の有料顧客になっている。また、今後見込まれる第3者決済免許の交付は、クラウドエコシステムの一層の拡大に役立つだろう。

免責事項: 本資料は、情報の提供のみを目的としたものであり、有価証券の売買の推奨を意図したものではありません。コアパシフィック山一インターナショナル(香港)は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。本資料は、信頼に足ると考えられる情報源を基にしておりますが、その正確性や完全性を保証するものではありません。本資料内で示す内容は予告無く変わる場合があります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。コアパシフィック山一インターナショナル(香港)またはコアパシフィックグループの企業、同グループに関係ある個人は、本資料の使用または本資料への信頼に起因するいかなる法的責任も負いません。当資料の一切の権利はコアパシフィック山一インターナショナル(香港)に帰属しており、無断で複製、転送、転載を禁じます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則(平 14.1.25)に基づく告知事項>
本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。